CA Clarity™ PPM

リリース ノート - オンデマンド

リリース 14.1.00

このドキュメント（組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。 本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。 いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。 また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト（http://www.ca.com/jp/support/）をご覧ください。

目次

第 1 章: 新リリースへようこそ 7

トレーニング....7
各国語のサポート....8
公開済みの修正....9
アドインの互換性....9
既知の問題および解決された問題....10
　解決された問題....10
　Java Runtime Environment の問題....10

第 2 章: 新規機能 11

Studio コンテンツ管理....11
統合アダプタ....12
Microsoft Project インターフェース....12
VersionOne との統合....13
スマートなセクション....14
Apache Tomcat ログ分析....14

第 3 章: 拡張された機能 15

クロスサイト スクリプティング（XSS）脆弱性に対するセキュリティ....15
アクション アイテムのローカライゼーション....16
ドキュメント....16
リリースの番号付け....17

付録 A: 互換性 19

クライアント....19
Clarity Mobile Time Manager....22
変更履歴....23
　CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点....23
　CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点....23
　CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点....24
　CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点....25
　CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点....25
　CA Clarity PPM リリース 13.0.00 での変更点....26

付録 B: アクセシビリティ機能 27

表示 28
音声 28
キーボード 29
マウス 29
キーボード ショートカット 30
CA Clarity キーボード ショートカット（アクション） 31
CA Clarity キーボード ショートカット（リスト） 31
期間単位値セルのキーボード ショートカット 33
ユーザのアクセシビリティの設定 34

付録 C: サードパーティ ソフトウェアに関する通知 35

第 1 章: 新リリースへようこそ

重要: リリース 14.1 とリリース 14.2 は間がほとんどないため、リリース 14.1 に対してはパッチは提供されません。 クリティカルな修正が特定された場合は、すべてリリース 14.2 に含まれる予定です。これをリリース 14.1 のパッチとお考えください。リリース 14.2 以外では、リリース 14.1 の修正は提供されません。 リリース 14.1 から使用開始することを決定したお客様は、リリース 14.2 を入手できるようになった時点ですぐにリリース 14.2 へのアップグレードを計画してください。パッチは、その後、CA サポートに掲載される標準の PPM Defect Resolution Policy に基づいて利用可能になります。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

トレーニング (P. 7)
各国語のサポート (P. 8)
公開済みの修正 (P. 9)
アドインの互換性 (P. 9)
既知の問題および解決された問題 (P. 10)

トレーニング

CA Education は CA Clarity PPM についての多くのトレーニング ソリューションを提供します。お客様が検討する可能性がある重要な 1 つのコースでは CA Productivity Accelerator（CA PA）について説明します。 提供されているトレーニングの詳細については、http://ca.com/education の CA Education Web サイトを参照してください。

各国語のサポート

国際化製品とは、必要なオペレーティング システムおよびサードパーティ製品のローカル言語バージョンで正常に動作する英語版製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品（ローカライズ済み製品とも言います）とは、製品のユーザ インターフェース、オンライン ヘルプ、その他のドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

この製品は完全にローカライズされ、日付、時刻、および数値フォーマットに関する 100 以上の地域設定をサポートします。 ユーザ インターフェースは、以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語（ブラジル）
- カタロニア語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語
- スウェーデン語
- 中国語（繁体字）
- トルコ語

CA Clarity PPM オンライン ヘルプとコンテンツのローカライズ バージョンは、製品の一般リリース（General Availability）から 90 日以内に提供されます。

ローカライズされた製品ドキュメントの最新のバージョンは、CA Support Online の［ドキュメント］ページで入手できます。

公開済みの修正

テクニカル サポートが CA サポートで提供するソリューションおよびパッチを確認することを推奨します。ユーザはソリューション、パッチ、および製品リリースに必要なすべての前提条件の発行済み修正プログラムを確認できます。

アドインの互換性

このセクションでは、インストールされたアドイン、アクセラレータ、およびコネクタのアップグレードに関する重要な情報について説明します。

- リリース 13.x からこのリリースにアップグレードする場合、展開すると以下のアドインがアップグレードされます。
  - PMO アクセラレータ
  - Clarity ソリューション パック（CSP）
  - Clarity Agile
  - Microsoft SharePoint 用コネクタ
- バージョン 13.0 より前のいずれかのバージョンからこのリリースにアップグレードする場合、インストールされているアドインがすべてアップグレードされます。

以下の表に、リリース 14.1 でインストールされるアクセラレータおよびコネクタのリリースを示します。

アクセラレータまたはコネクタ	アップグレードされたバージョン
PMO アクセラレータ	14.1.0
Clarity ソリューション パック（CSP）	14.1.0
アーンド バリュー マネージャ	2.0.2
PRINCE2 用アクセラレータ	2.0.2
PMBOK 用アクセラレータ	2.0.2
新製品開発用アクセラレータ	2.0.3
BRM アクセラレータ	3.0.2

アクセラレータまたはコネクタ	アップグレードされたバージョン
CA Unicenter Service Desk & CA Software Change Manager™ for Distributed 用コネクタ	2.0.1
Microsoft SharePoint 用コネクタ	3.0.0
サービス接続	2.0.0
Catalyst コネクタ	2.5.0
CA Clarity Agile	14.1.0
統合アダプタ	14.1.0
VersionOne コネクタ	14.1.0

既知の問題および解決された問題

既知の問題はナレッジベース記事として扱われます。 既知の問題を検索するには、CA Clarity PPM Support by Product ページに移動し、［ナレッジベース］タブをクリックして、検索用語として *clarity13open* または *clarity14open* を入力します。

解決された問題

解決された問題については、CA Support Online の解決された問題のページを参照してください。

Java Runtime Environment の問題

Java Runtime Environment （JRE）は、CA Clarity PPM のリリース時には不明である問題を含めて、セキュリティに関する問題を解決するために頻繁に更新されます。 最新の修正を反映するには、最新の JDK バージョン 7 をダウンロードすることを推奨します。

第 2 章: 新規機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

Studio コンテンツ管理 (P. 11)
統合アダプタ (P. 12)
Microsoft Project インターフェース (P. 12)
VersionOne との統合 (P. 13)
スマートなセクション (P. 14)
Apache Tomcat ログ分析 (P. 14)

Studio コンテンツ管理

コンテンツ パッケージ内の特定の Studio コンテンツを収集できます。 コンテンツ パッケージは、開発、テスト、および実稼働システム間で、コンテンツを識別、組み立て、エクスポート、展開するのに役立ちます。また、コンテンツ パッケージ使用して、外部サードパーティに配布することもできます。 コンテンツ パッケージにより、Studio コンテンツのインポートとエクスポートが簡単になります。 受信者はお客様が作成したコンテンツを環境内のアドインとしてインポートし、そのコンテンツを使用できます。 たとえば、一連のページ、ポートレット、およびクエリを開発できます。また、内部のユーザや外部の顧客にそれらを提供できます。

コンテンツ パッケージをエクスポートすると、アプリケーションはパッケージ内に XML ファイルを作成します。 そのパッケージを、インポートの対象システムに移動できます。Studio コンテンツ管理では、XML や XOG の知識は不要です。 使いやすいインターフェースが用意されているため、Studio コンテンツをパッケージングして、ダウンロードし、CA Clarity PPM インスタンス間でインポートすることができます。 開発者は、コンテンツ項目を設計し、エクスポート用にそれらをパッケージングし、別の環境で再インポートできます。

また、内部で開発された Studio コンテンツ パッケージやサードパーティが開発した Studio コンテンツ パッケージをインポートすることもできます。 Studio コンテンツ パッケージは、アプリケーションの機能を拡張します。

注: Studio コンテンツ管理および必要なアクセス権の詳細については、「*Studio 開発者ガイド*」を参照してください。

統合アダプタ

統合アダプタでは、リソース情報をインポートできます。 新しいリソースを作成するか、または区切りファイルおよびジョブを使用して既存のリソースを更新できます。 統合アダプタは、新規インストールまたはアップグレードの後に、自動的に利用できるようになります。

以下の手順では、リソース情報のインポート プロセスの概要について説明します。

1. 区切りファイルを作成して、フォーマットします。
2. CA On Demand の安全な FTP ディレクトリにファイルをアップロードします。
3. 統合データ ローダ ジョブを実行します。
4. データがインポートされたことを確認するために、エラー メッセージおよびログを確認します。

Microsoft Project インターフェース

新しい Microsoft Project インターフェース（XML ベース）は、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェースのインストール中に選択できます。 また、新しいインターフェースにアップグレードする準備ができていないお客様は、既存のレガシー インターフェースを利用することもできます。インターフェースの両方のバージョンは、32 ビットと 64 ビットの両方の Microsoft Project インストール環境で利用可能です。

VersionOne との統合

VersionOne コネクタをインストールして、CA Clarity PPM プロジェクトを VersionOne と統合してください。VersionOne は、機敏なプロジェクト プランニング アプリケーションです。 この統合により、CA Clarity PPM プロジェクト マネージャは、機敏なプロジェクトをほぼリアルタイムで観察できます。また、2 回の入力が必要なくなります。プロジェクト マネージャは以下のタスクを効率的に完了できます。

- CA Clarity PPM でプロジェクトを作成し、VersionOne 内で機敏なメトリックを使用して、イニシアチブ エピックとしてそれらを追跡する。
- VersionOne に作業項目（ストーリー、不具合、タスク、またはテスト）を作成し、プロジェクト WBS として CA Clarity PPM でそれらを表示する。
- 作業項目に対して VersionOne に工数を入力し、CA Clarity PPM タイムシートでそれらを表示する。

注: VersionOne コネクタのインストールの詳細については、「*インストール ガイド*」を参照してください。

スマートなセクション

多くのセクションおよびフィールドを含むページの管理が容易になりました。セクション ヘッダ バーはスイッチ ボタンの役割を果たします。また、この機能は、エラーを含むセクションを迅速かつ容易に特定するのにも役立ちます。

以下の変更が、ページ セクションの動作方法を向上させています。

- ページのセクションをすべて開くか閉じるには、任意のセクション ヘッダ バーをダブルクリックします。
- 1 つのセクションを開いたり閉じたりするには、セクション ヘッダ バーを 1 回クリックします。
- エラーがあるセクションのヘッダ バーは、保存時に強調表示されます。

  セクションがすべて折りたたまれている場合は、最初に強調表示されたセクションが展開され、ユーザが修正できます。 強調表示された残りのセクションで修正を行う場合は、セクション ヘッダ バーをクリックしてセクションを開きます。
- 必須フィールドが含まれているセクションでは、ヘッダ バーに［必須］アイコンが表示されます。 この表示によって、折りたたまれたセクションで、どのセクションに必須フィールドがあるかを確認できます。

注: 期間単位値はセクションと似ていますが、本当のセクションでなく、これらの変更には含まれていません。スマート セクションは、［ホーム］、［レポート］、［ジョブ］ページ、［管理］、［一般設定］、［システム オプション］ページ、ポップアップ ダイアログ ボックスには適用されません。 また、ブラウザを切り替えると、スマート セクションの状態は持続しません。

Apache Tomcat ログ分析

Tomcat アクセス ログのインポート/分析ジョブおよびログ分析データの削除ジョブが追加されました。 これらのジョブは、Apache Tomcat 環境におけるパフォーマンスの分析に使用できるデータを作成および管理します。 システム パフォーマンスに関する詳細を提供するために、カスタム ポートレット、クエリ、または外部的に利用可能なコンテンツを追加できます。ジョブは Tomcat 以外のアプリケーション サーバに対して実行されますが、データは作成されません。

第 3 章: 拡張された機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

クロスサイト スクリプティング (XSS) 脆弱性に対するセキュリティ (P. 15)
アクション アイテムのローカライゼーション (P. 16)
ドキュメント (P. 16)
リリースの番号付け (P. 17)

クロスサイト スクリプティング (XSS) 脆弱性に対するセキュリティ

クロスサイト スクリプティング（XSS）攻撃は、有害なスクリプトが埋め込まれない場合は信頼される Web サイトに有害なスクリプトを埋め込みます。 XSS アタッカーは、Web アプリケーションを使用して、通常は、ブラウザ側のスクリプトの形式で、有害なコードをエンド ユーザに送信します。これらの攻撃は、Web アプリケーションの生成する出力に、Web アプリケーションによる事前の検証や入力データのエンコーディングなしに、ユーザ入力データが含まれる場合に成功します。

ユーザのブラウザは、スクリプトが有害であることを認識しないまま、スクリプトを実行します。 ブラウザはスクリプトが信頼されたソースからのものと判断するので、有害なスクリプトは Cookie や、セッション トークン、その他の機密情報にアクセスできます。

XSS 脆弱性に対応するには、ブラウザに送り返されるユーザによる入力がすべて安全であることを（入力検証によって）確認する必要があります。また、出力ページに含まれる前に、ユーザ入力を正しくエスケープする必要があります。 出力を適切にエンコーディングすれば、ユーザ入力は、ブラウザ内で、常に、実行可能なアクティブなコンテンツではなくテキストとして扱われます。

このリリースには、XSS 対策のユーザ入力検証および XSS ユーザ入力規制（エスケープ）が配置され、CA Technologies によって管理されます。既定の制限設定の変更要求または XSS セキュリティの問題についてのその他の支援については、http://ca.com/support の <サポート> に問い合わせてください。

アクション アイテムのローカライゼーション

CA Clarity PPM 管理者は、プロセスに関連付けられているアクション アイテム名と説明を、サポートされているすべての言語に変換できるようになります。別の言語で作業するユーザにアクション アイテムを送信すると、ユーザは自分の言語でアクション アイテム名と説明を確認します。

プロセス ページの［Action Item Name］フィールドの横に翻訳アイコンが表示されます。 このアイコンをクリックすると、ダイアログ ボックスが表示され、［Action Item Name］フィールドと［説明］フィールド用の別の言語翻訳を指定できます。

注: アクション アイテム翻訳アイコンは、管理ツールとしての使用が意図されており、プロセスに関連するアクション アイテムに対してのみ表示されます。 アイコンは、エンド ユーザが［ホーム］メニューから実行するアクション アイテム操作には利用できません。

ドキュメント

このリリース用に CA Clarity PPM ドキュメントが改良され、以下のような変更が行われました。

- **Integration Adaptor Guide。** この新しいガイドは、統合アダプタを使用するための手順を提供します。統合アダプタでは、CA Clarity PPM ジョブを使用して、リソース情報をインポートできます。統合アダプタは、新規インストールまたはアップグレードの後に、自動的に利用できるようになります。
- **Microsoft Project インターフェース**「*プロジェクト管理ユーザ ガイド*」および「*インストール ガイド*」が、Microsoft Project インターフェースに関する以下の情報を含めるために更新されました。
  - Microsoft Project インターフェースをインストールおよび使用するためのアクティビティのフローが改善されました。
  - 顧客の問題およびリクエストに対するレスポンス。
- **変更の影響とアップグレード。**「*変更の影響とアップグレード ガイド*」が更新され、以前のリリースに関する情報が含まれるようになりました。 この変更は、以前のリリースに関するアップグレード情報の検索を容易にするために加えられました。 ガイドには、14.1 およびすべての 13.x リリースに関する関連情報が含まれるようになりました。

リリースの番号付け

CA Clarity PPM では、今回のリリースから、リリース番号付けの新しい方式が採用されます。 リリース番号は、その年の暦年およびその年におけるリリースの順番を反映するようになります。たとえば、暦年 2016 年に 2 回のリリースが行われている場合、リリースには 16.1 および 16.2 の番号が付けられます。

この方式の利点は、あるバージョンがいつ配布されて使用できるようになったのかを、リリース番号自体から把握できるということです。

付録 A: 互換性

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

クライアント (P. 19)
Clarity Mobile Time Manager (P. 22)
変更履歴 (P. 23)

クライアント

以下の表に、CA Clarity PPM にアクセスするクライアント コンピュータ用にサポートされているソフトウェアを示します。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
オペレーティング システム	■ Microsoft Windows XP Professional： SP3 以上 ■ Microsoft Windows 7 SP1 32 ビットおよび 64 ビット、全エディション ■ Microsoft Windows 8.1、32 ビットおよび 64 ビット	■ Mac OS X：リリース 10.9.1 またはそれ以上のパッチ レベル	■ 「Web ブラウザ」セクションにリストされているブラウザをサポートするすべてのベンダーまたはバージョン。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
Web ブラウザ	■ Microsoft Internet Explorer 10.0 および 11.0 ならびにそれ以上のパッチ レベル（Microsoft Windows 7 および 8.1） [17)] ■ Microsoft Internet Explorer 9.0 およびそれ以上のパッチ レベル ■ Microsoft Internet Explorer 8.0 およびそれ以上のパッチ レベル [12)] ■ Firefox 30.0 およびそれ以上のリリース [11)] ■ Firefox ESR 24.2.0 およびそれ以上のパッチ レベル [11)] ■ Google Chrome 35 またはそれ以上のリリース レベル [11)]	■ Safari 7.0 およびそれ以上のパッチ レベル ■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース [11)]	■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース [11)]

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
クライアント アプリケーション [10]	■ Microsoft Excel 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット： 全エディション。 ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット： 全エディション。 ■ Microsoft Project 2010 SP2 および 2013 32 ビットおよび 64 ビット： 全エディション ■ Java 7 Runtime Environment：1.7 update 45 またはそれ以上のアップデート レベル [13] ■ Adobe Flash Player 11.9 またはそれ以上 [14] ■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上 [15] ■ CA Open Workbench 2.1.2 ■ Crystal Reports 2008 Designer Client SP5[16]	■ Microsoft Office Excel 2011 ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上 [14] ■ Mac OS Preview PDF ビューア [15] ■ *Microsoft Project へのサポートなし* ■ *CA Open Workbench へのサポートなし* ■ *Crystal Reports Designer へのサポートなし*	■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上 [15] ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上 [14] ■ *Excel エクスポートへのサポートなし* ■ *Microsoft Project へのサポートなし* ■ *CA Open Workbench へのサポートなし* ■ *Crystal Reports Designer へのサポートなし*
サードパーティ **SOAP** 統合ツールキット	■ Microsoft Visual Studio 2013 （.NET Framework 4.5.1） ■ Apache AXIS 1.6	■ Apache AXIS 1.6	■ Apache AXIS 1.6

メモ:

- [10] 複数バージョンのサードパーティ ソフトウェアの同時使用は、非同期および互換性の問題を引き起こす可能性があるため、サポートされていません。 CA Technologies は、ベンダーがサポートするサードパーティ ソフトウェアのバージョンのみをサポートします。

- 11) Firefox および Chrome の新しいリリースは、リリース後の最小限のテストだけでサポートされている場合があります。
- 12) IE 8.0 およびその関連パッチに対するサポートは、リリース 15.1 で終了します。
- 13) Open Workbench、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェース、および XOG クライアントに必要。
- 14) Xcelsius ダッシュボード表示用。
- 15) CA Clarity PPM インストール ガイド、技術マニュアル、ユーザ ガイド、およびオフライン レポートを読むために必要です。
- 16) カスタム レポート開発にのみ必要。
- 17) CA Clarity PPM と組み合わせて Internet Explorer 11 を使用している場合、CA Clarity PPM セッションについて Internet Explorer 10 互換モードで実行されるように、ブラウザが自動的に設定されます。この設定は CA Clarity PPM セッションのみを対象にしており、他の Internet Explorer 11 ブラウザ アクティビティには影響しません。

Clarity Mobile Time Manager

以下の表に、Clarity Mobile Time Manager アプリケーションに対してサポートされているモバイル オペレーティング システム プラットフォームを示します。

	iOS	**Android**
モバイル オペレーティング システム	■ Apple iOS 7.0 またはそれ以上	■ Google Android OS 4.0 またはそれ以上

変更履歴

CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
モバイル オペレーティング システム [1)]	■ Apple iOS 6 に対するサポートを終了しました。
クライアント ブラウザ	■ Firefox、Chrome および Safari ブラウザの新リリースに対するサポートを更新しました。
クライアント アプリケーション	■ 変更はありません

CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点

コンポーネント	説明
モバイル オペレーティング システム [1)]	■ Apple iOS 6.1.4 および iOS 7 のサポートを追加しました ■ Google Android OS 4.2.2 （Jelly Bean）のサポートを追加しました
クライアント ブラウザ	■ Microsoft Windows 用の Firefox 19.0.2 22 のサポートを追加しました ■ Microsoft Windows 用の Google Chrome 31.x.x.x のサポートを追加しました また、バージョン 29、30、および 31 での既知の問題に関する脚注を追加しました ■ Apple Mac OS 用の Safari 6.0.52 のサポートを追加しました ■ Adobe Flash Player バージョン 11 のサポートを追加しました
クライアント アプリケーション	■ Microsoft Project 2007 のサポートを終了しました ■ CA Open Workbench 2.1.1 のサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
モバイル オペレーティング システム[1]	■ Apple iOS 6.0 およびそれ以上のサポートを追加しました。 ■ Google Android 4.0 （Ice Cream Sandwich）およびそれ以上のサポートを追加しました。
クライアント ブラウザ	注：CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。 ■ Firefox 19.0.2 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 17.0.4 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 10.0.5 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Internet Explorer 10（Windows 8 のみ）のサポートを追加しました。 ■ Chrome 25.0.1364.172m のサポートを追加しました。 ■ Apple Safari 6.0.2 （Mac OS X 10.8.2 またはそれ以上で使用）のサポートを追加しました。
クライアント アプリケーション	■ Microsoft Project 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット： すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Excel 2010-2013 64 ビット：すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 64 ビット： すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.0 のサポートを終了しました。

メモ:

- [1] このサポートの対象は Clarity Mobile Time Management アプリケーションのみです。

CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
	注：CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。
クライアント ブラウザ	■ Firefox ESR 10.0.5 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 13.0 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Chrome 18.0.1.25.152m 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。
クライアント アプリケーション	■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	■ Firefox 10.0 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 3.6 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM リリース 13.0.00 での変更点

コンポーネント	説明
クライアントブラウザ	■ IE 9.0 のサポートを追加しました。 ■ IE6 および IE7 のサポートを中止しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを追加しました。 ■ Safari 5.1.1 のサポートを追加しました。
クライアントアプリケーション	■ Microsoft Project 2000、2002 および 2003 のサポートを中止しました。 ■ Crystal Reports デザイナ 2008 のサポートを、SP3 またはそれ以上（サービス パックではなく）と定義しました。
SharePoint Server	■ SharePoint Server 2010 のサポートを追加しました。 ■ SharePoint Server 2007 のサポートを中止しました。

付録 B: アクセシビリティ機能

CA Technologies は、すべてのお客様が弊社の製品およびサポート ドキュメントを正しく使用してビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。 アクセシビリティ モードを有効にすると、支援を必要とするユーザ向けに、ユーザ インターフェースのコントラストを最適化し、スクリーン リーダーをアシストします。

CA Clarity PPM のアクセシビリティ機能は、Mozilla Firefox 13 ブラウザおよび Job Access With Speech （JAWS）スクリーン リーダーと一緒に使用したときに最高の機能を発揮します。

CA Clarity PPM は、以下の領域において Windows ベースおよび Macintosh ベースの環境からアクセシビリティ拡張機能を継承します。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

注: 以下のトピックの情報は、Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホスト オペレーティング システムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジがあります。 これらの既存の支援テクノロジで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジ自体と、Java 仮想マシン（Java VM）内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。 このブリッジは、両端が Java VM とネイティブ オペレーティング システムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Oracle では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

表示 (P. 28)
音声 (P. 28)
キーボード (P. 29)
マウス (P. 29)
キーボード ショートカット (P. 30)
ユーザのアクセシビリティの設定 (P. 34)

表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

フォント スタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータ サウンドを聞きやすくしたり区別しやすくしたりするには、以下のオプションを調整します。

音量

コンピュータ サウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声変換

音声で読み上げたコマンド オプションやテキストを聞くことができます。

警告

警告を視覚的に表示します。

通知

アクセシビリティ機能が有効または無効になったときに、聴覚的または視覚的な合図を送ります。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステム イベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

スティッキー キー

片手または 1 本の指で入力するユーザは、別のキーボード レイアウトを選択できます。

マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

クリック速度

選択するときのマウス ボタンのクリック速度を選択できます。

クリック ロック

マウス ボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタのオプション

以下の操作を実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示
- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログ ボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

キーボード ショートカット

以下の表では、すべての CA Clarity PPM ページで利用可能な基本機能のキーボード ショートカットについて説明します。

フィーチャー	キーの組み合わせ
ホーム メニュー	Ctrl+Alt+h
管理メニュー	Ctrl+Alt+a
お気に入りメニュー	Ctrl+Alt+f
戻る	Ctrl+Alt+b または Alt+ 左方向キー
ホーム ページ	Ctrl+Alt+Home
更新	Ctrl+Alt+F5
検索	Ctrl+Alt+s
履歴	Ctrl+Alt+v
ヘルプ	F1

CA Clarity キーボード ショートカット（アクション）

以下の表では、CA Clarity PPM ページ上のアクションのキーボード ショートカットについて説明します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
フィールド エディタの有効化（たとえば日付ピッカー等）	Enter	Alt+Enter
ポップアップを閉じる	Esc	Shift+Esc
タブ メニューを開く	Enter	Alt+Enter
メニューで左、右、上、または下に移動	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー	Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー
ハイライトされたメニュー アイテムの選択	Enter	Alt+Enter
リスト ページのリンクを開く	Ctrl+Enter	
チェック ボックスのオン/オフ **注**: チェック ボックスにフォーカスがある必要があります。	スペース キー	
階層リストの展開 **注**: 階層リストの + にフォーカスがある必要があります。	スペース キー	

CA Clarity キーボード ショートカット（リスト）

以下の表では、リストのキーボード ショートカットについて説明します。

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト内の編集と表示モード間の切り替え	表示、編集	Enter

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト（グリッド）内のセルからセルへの移動	表示	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー
リスト内の別のエリアへの移動：ポートレット アイコン、列ヘッダ、リストの本文、ボタン	表示	Tab （転送） Shift+Tab （戻る）
表示モードへの切り替え	編集	Esc または Enter
セル内での左または右への移動	編集	左方向キー 右方向キー
編集可能なセルから編集可能なセルへの移動	編集	Tab （転送） Shift+Tab （戻る）
行の最後に移動 **注**：TSV 行でのアクションの場合は、キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	編集	Ctrl+ 右方向キー
行の先頭に移動	編集	Ctrl+ 左方向キー
ページを上または下に移動	表示、編集	Ctrl+Alt+ 上方向キー Ctrl+Alt+ 下方向キー
リストの一番上または一番下に移動 **注**：TSV セル内のアクションの場合は、キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	表示、編集	Ctrl+ 上方向キー Ctrl+ 下方向キー
ドロップダウン リストまたは日付セレクタを開く	編集	Enter
ドロップダウン内の選択項目を移動	編集	上方向キー 下方向キー
ドロップダウンまたは日付セレクタ内のハイライトされた値の選択	編集	Enter
日付セレクタ内の日付のハイライト	編集	下方向キー
長いテキスト エリアでの新しいラインの追加	編集	Ctrl+Enter

期間単位値セルのキーボード ショートカット

以下の表に、リスト内の期間単位値セルのキーボード ショートカットを示します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
TSV 行の選択	Shift+Ctrl+ 右方向キー	
TSV 列の選択	Shift+Ctrl+ 下方向キー	
現在のセルの左または右の単一セルの選択	Shift+ 右方向キー Shift+ 左方向キー	
現在のセルの上または下の単一行の選択	Shift+ 上方向キー Shift+ 下方向キー	
TSV セルのコピー	Ctrl+c	
TSV セルの貼り付け	Ctrl+v	
TSV セルの切り取り	Ctrl+x	
切り取り、コピー、または貼り付け操作の取り消し	Ctrl+z	
Excel から TSV セルへのコピー	Ctrl+c および Ctrl+v	

ユーザのアクセシビリティの設定

ユーザのアクセシビリティを設定するには、以下の手順に従ってください。

以下の手順に従います。

1. ［管理］を開き、［組織とアクセス］から［リソース］をクリックします。
2. リソースの名前をクリックします。

   ［プロパティ］ページが表示されます。
3. 適切な［アクセシビリティ］チェック ボックスをオンにします。

   スクリーン リーダー最適化 UI

   スクリーン リーダーがよりよく機能を認識できるように、ユーザ インターフェースが最適化されるかどうかを決定します。 スクリーン リーダーを使用している視覚障害のあるすべてのユーザのために、このチェック ボックスをオンにします。

   既定値： オフ

   ハイコントラストの色モード

   色覚障害のあるユーザを補助する特別な UI テーマを使用するかどうかを決定します。 選択すると、ユーザにはハイ コントラストの UI テーマが表示されます。

   既定値： オフ
4. 変更を保存します。
5. （オプション）［スクリーン リーダー最適化 UI］を選択した場合は、スクリーン リーダー ソフトウェアがコンピュータ上で実行されていることを確認してください。
6. ユーザが CA Clarity PPM にログインすると、一旦ログアウトしてログインし直すよう指示されます。

付録 C: サードパーティ ソフトウェアに関する通知

CA Clarity PPM で使用するサードパーティ製ユーティリティおよびソフトウェアのライセンス情報は、マニュアル選択メニューの［TXT の表示］リンクをクリックして、入手できます。